

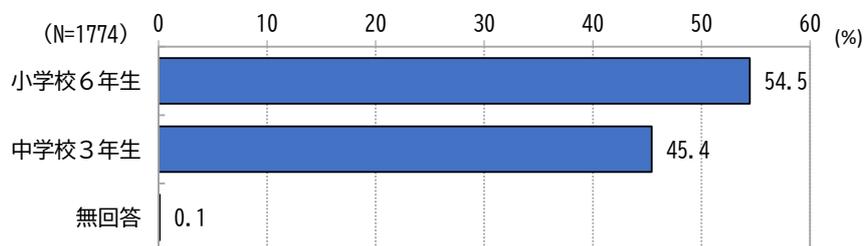
【資料1】子どもの意識調査速報データ

実施要領

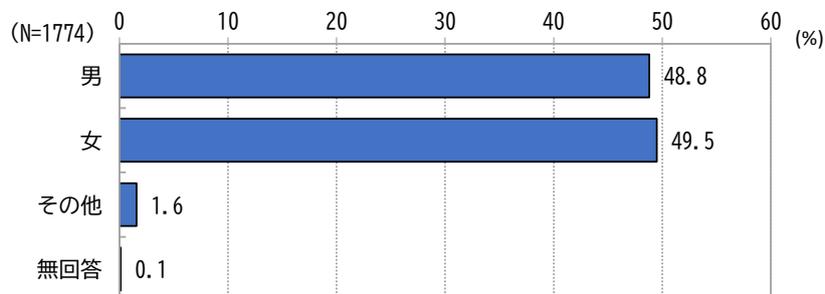
調査対象	対象者数	回収数	調査期間	調査方法
市内の小学6年生、 中学3年生の児童・ 生徒	約2,000人	1,774人	令和6年 8月28日～ 9月23日	WEB回収

A 自分自身について

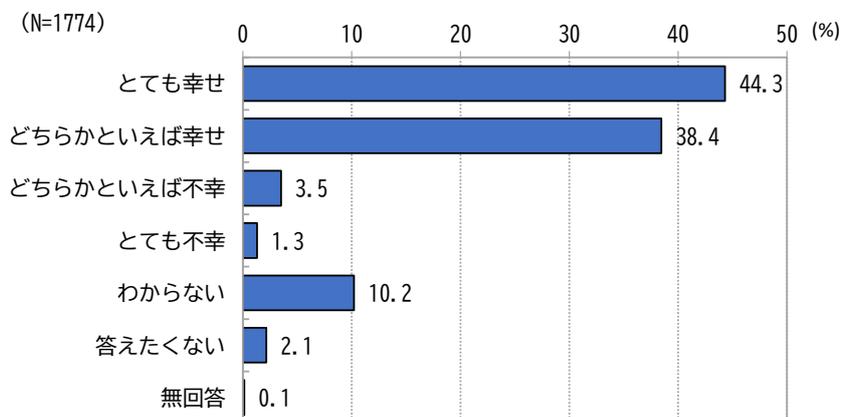
【問1】 あなたの学年を教えてください。（1つ）



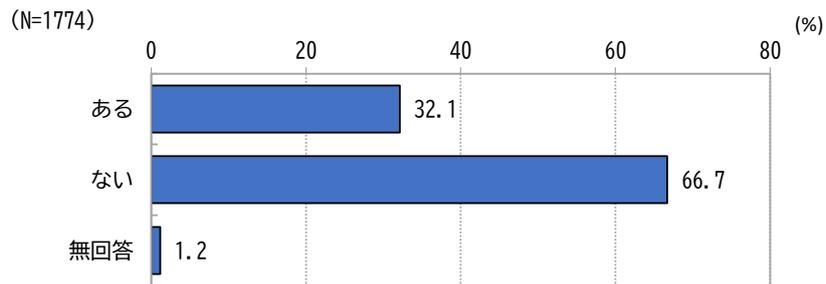
【問2】 あなたの性別を教えてください。（1つ）



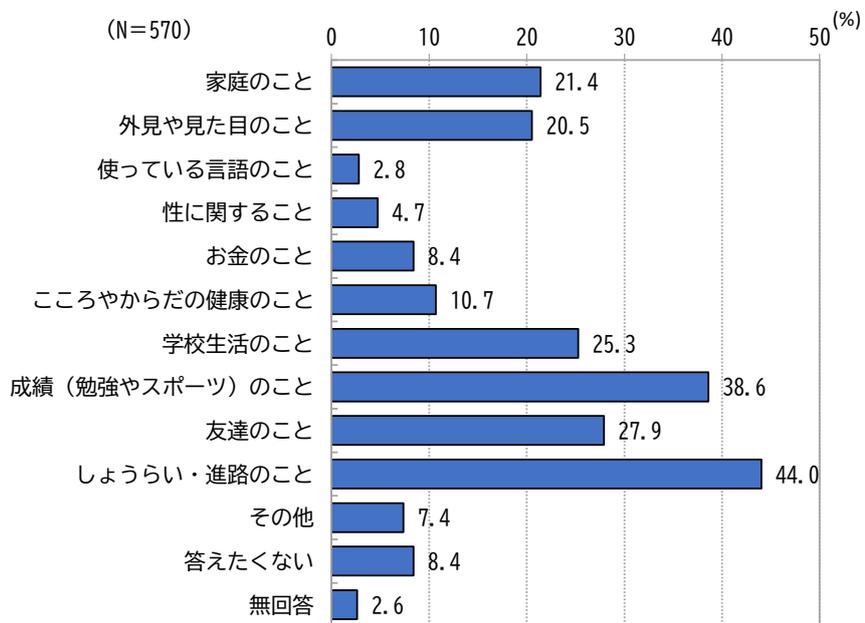
【問3】 あなたは、どのくらい幸せを感じていますか。（1つ）



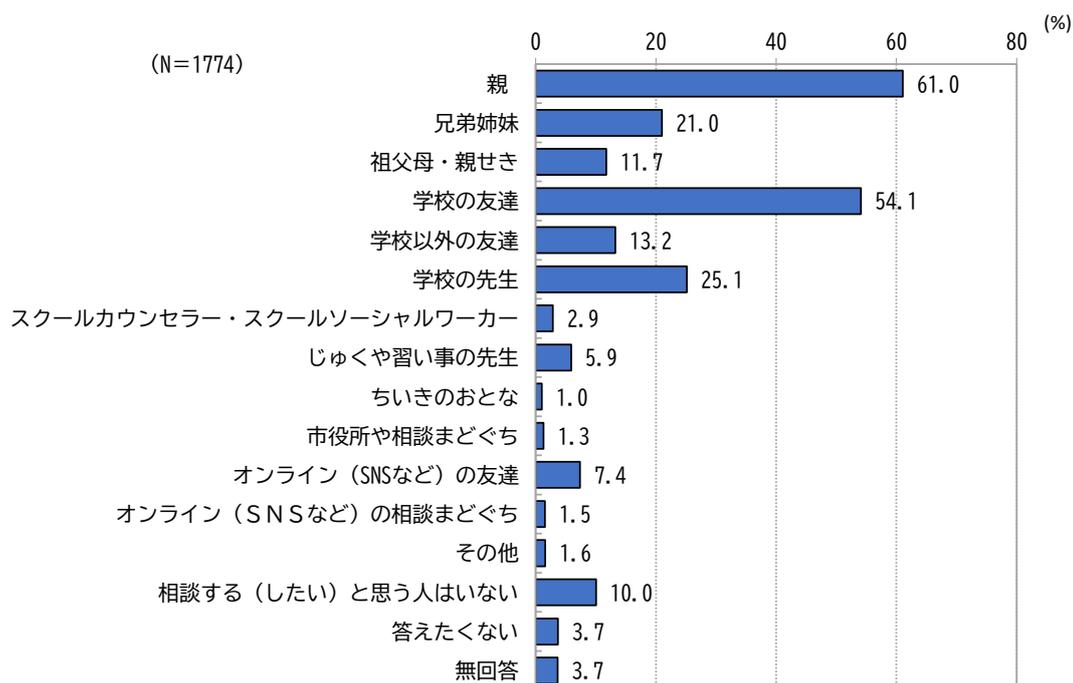
【問4】 あなたは、なやんでいることや困っていることはありますか。
(1つ)



【問5】 問4で「1. ある」を選んだ人におたずねします。それはどんなことですか。(あてはまるものすべて)



【問 6】 あなたがなやんだり、困ったときに相談する（したい）と思う人はだれですか。（あてはまるものすべて）

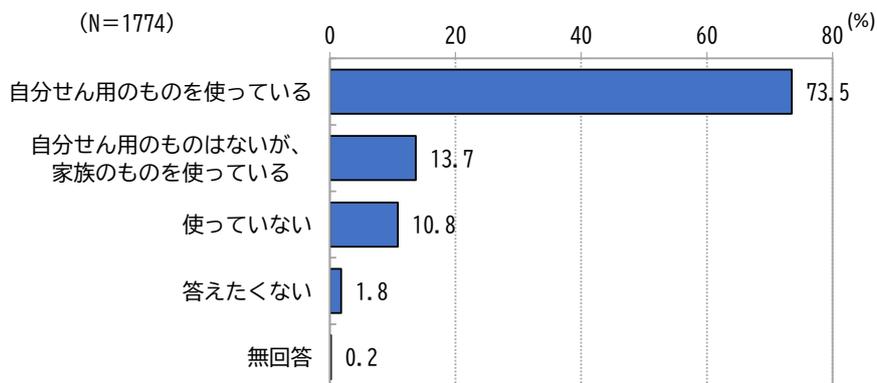


【問 7】 あなたが自分自身について、思っていることや伝えたいことがあれば、自由に書いてください。

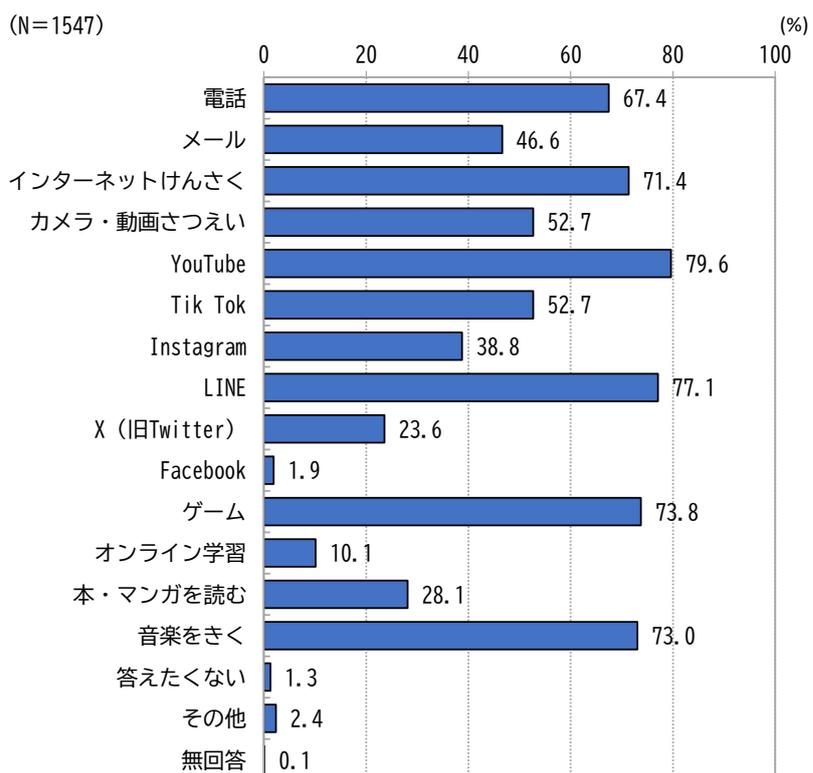
「特にない」「ない」を除くと169件の意見がみられました。上位5つの主な意見内容は以下のとおりです。

意見分類	件数
自分自身の紹介、自分が好き・自分への応援	45
自分の性格や存在に自信がないなどの悩み	24
友達関係が難しい	18
勉強や運動に自信がない、学校がいや	16
家族との関係・要望	10

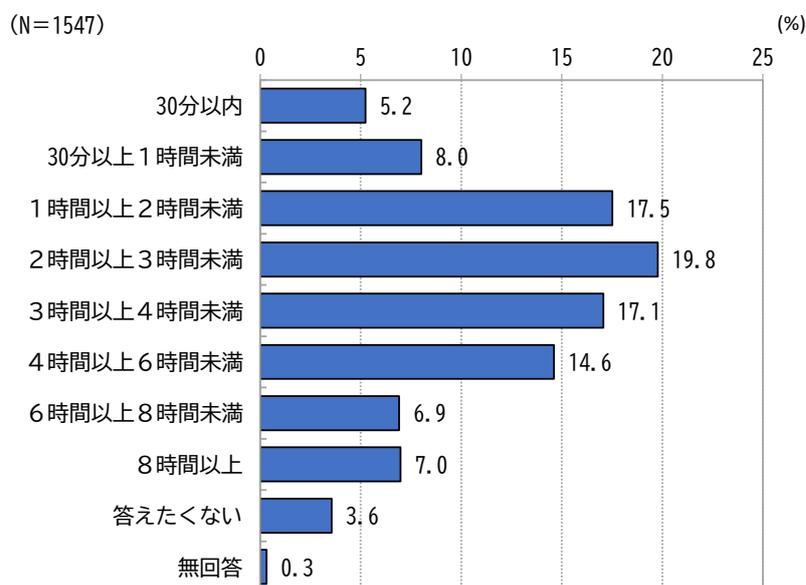
【問 8】 あなたはスマートフォンなどの携帯電話を使っていますか。(1つ)



【問 9】 問 8 の「1. 自分せん用のものを使っている」または「2. 自分せん用のものはないが、家族のものを使っている」を選んだ人におたずねします。スマートフォンなどの携帯電話を使ってどんなことをしていますか。(あてはまるものすべて)

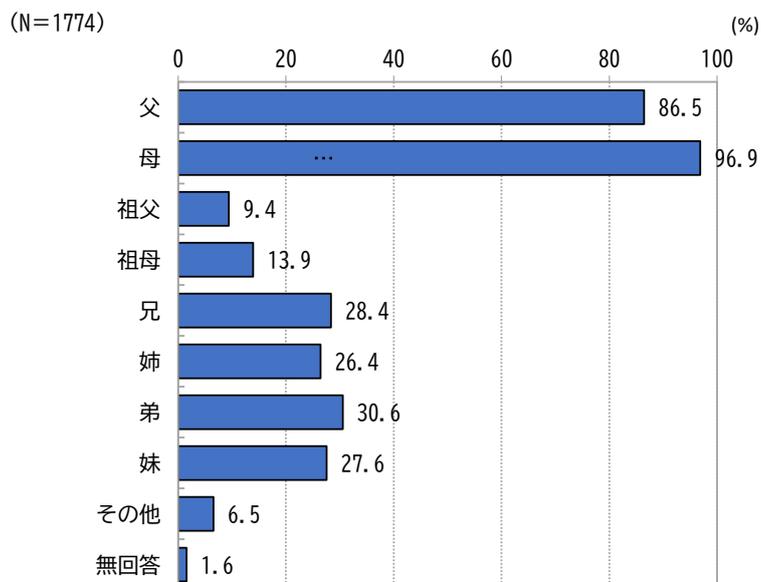


【問10】 問8の「1. 自分せん用のものを使っている」または「2. 自分せん用のものはないが、家族のものを使っている」を選んだ人におたずねします。1日何時間くらい使っていますか。(1つ)

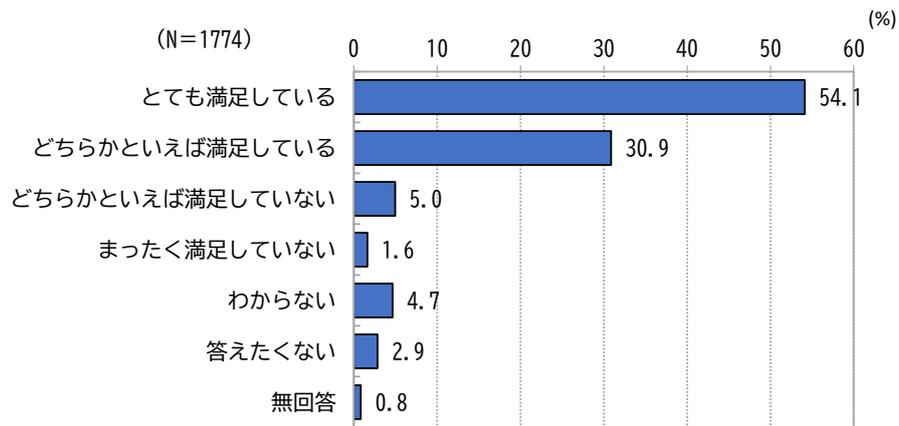


B あなたの家庭について

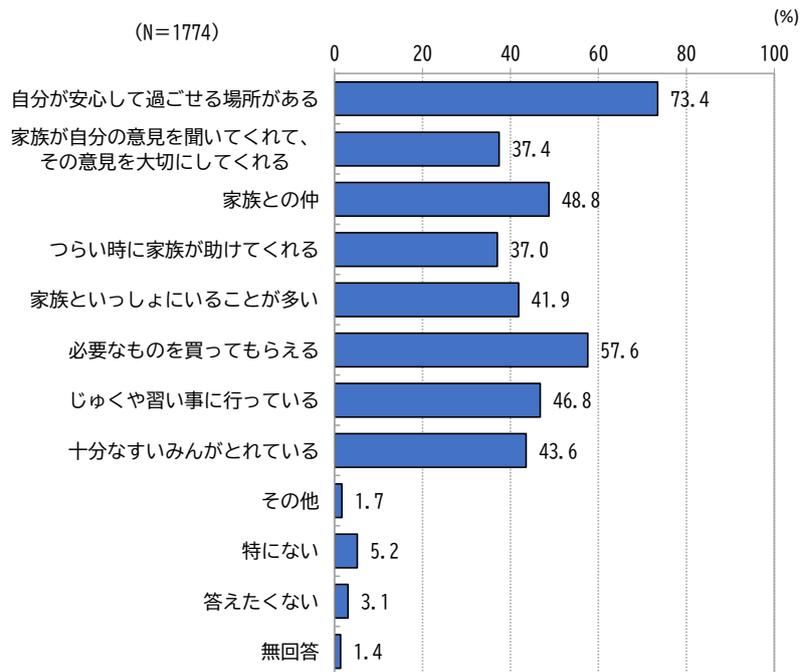
【問1】 あなたがいっしょにくらしている人を教えてください。(あてはまるものすべて。人数に関係なく、いっしょにくらしている人に○をしてください。)



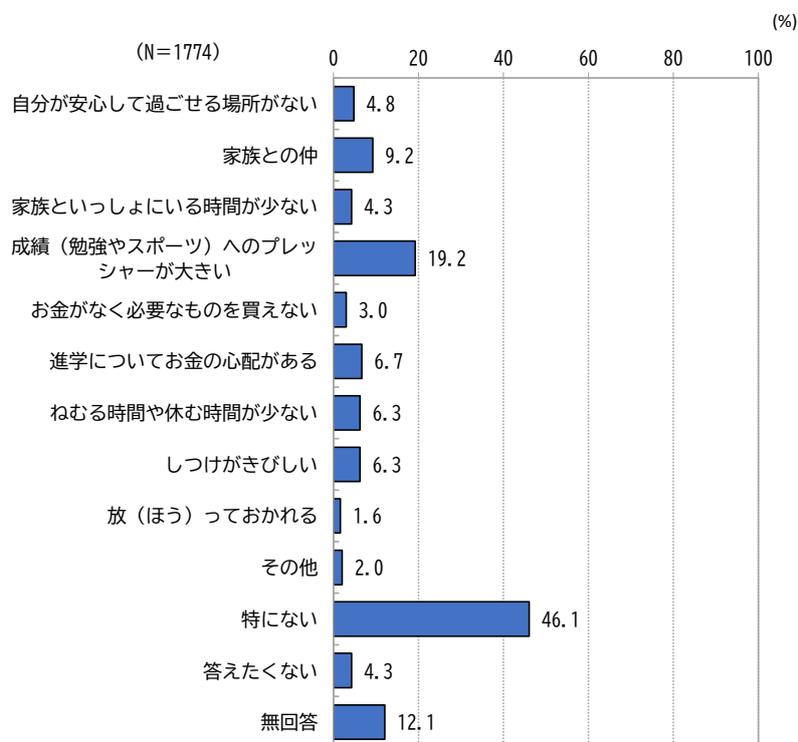
【問2】 あなたは自分の家庭に満足していますか。(1つ)



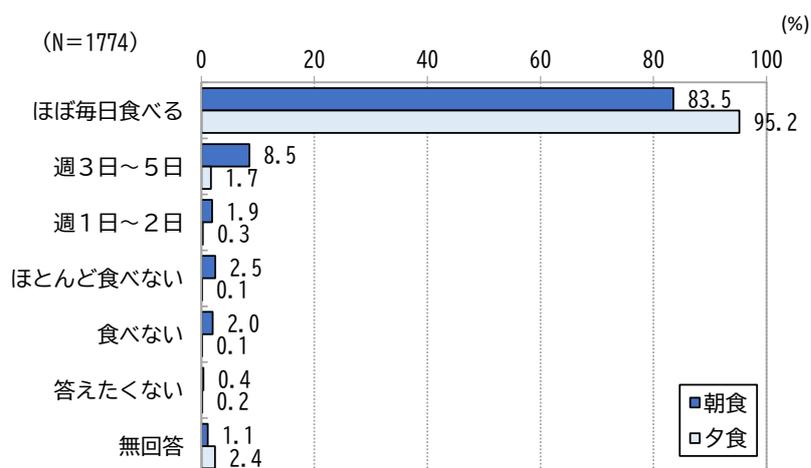
【問3】 あなたがふだん家族と生活している中で、満足に感じていることを教えてください。(あてはまるものすべて)



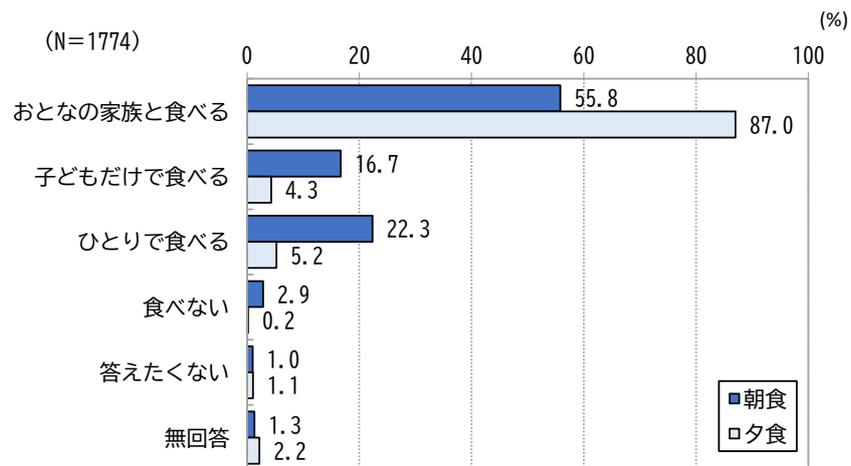
【問4】 あなたがふだん家族と生活している中で、不安に思ったり、改善したいと感じていることを教えてください。（あてはまるものすべて）



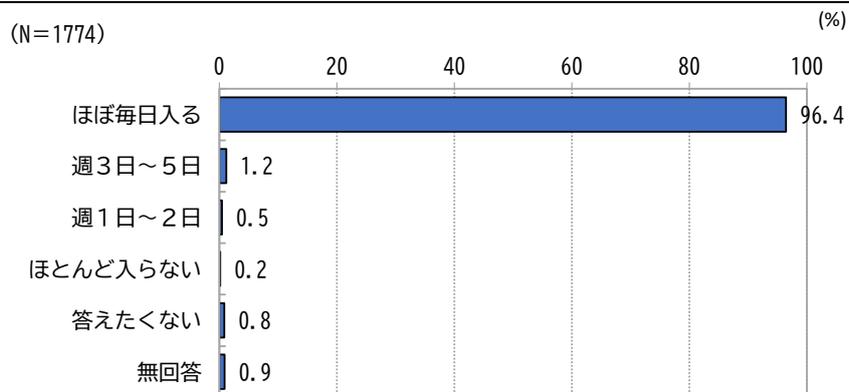
【問5】 あなたは朝食と夕食を食べていますか。（あてはまるものそれぞれ1つ）



【問6】 あなたは朝食と夕食をおもにだれと食べていますか。（あてはまるものそれぞれ1つ）

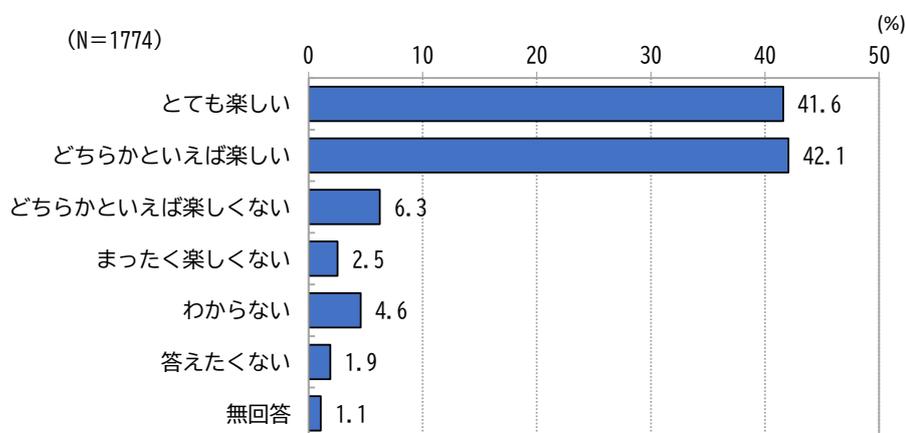


【問7】 あなたはお風呂（シャワーをふくむ）にどのくらい入っていますか。（1つ）

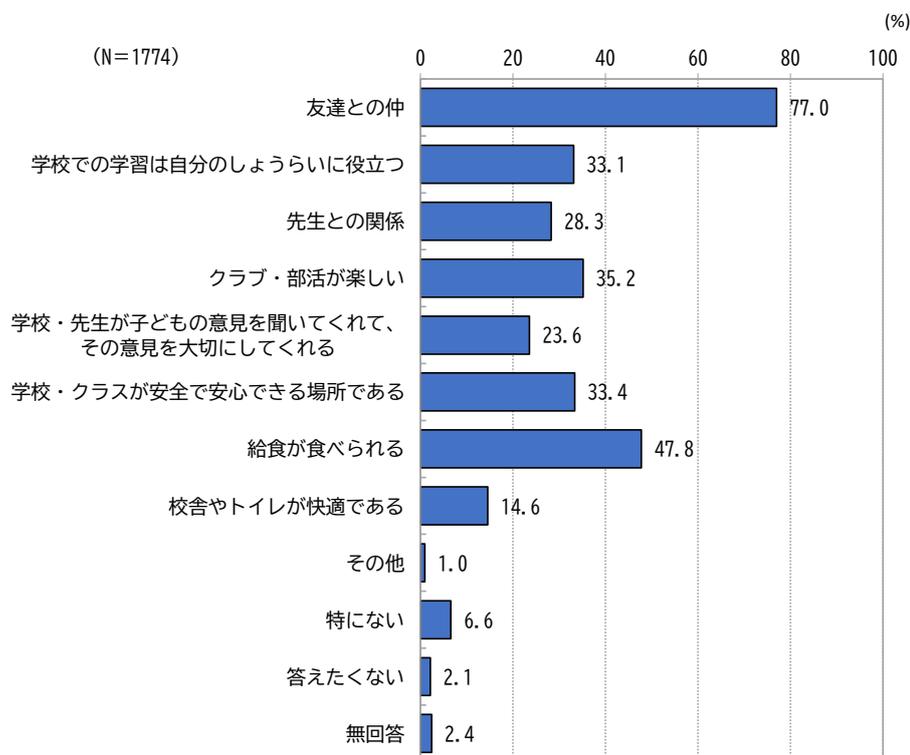


C 学校について

【問1】 あなたは学校生活が楽しいですか。(1つ)

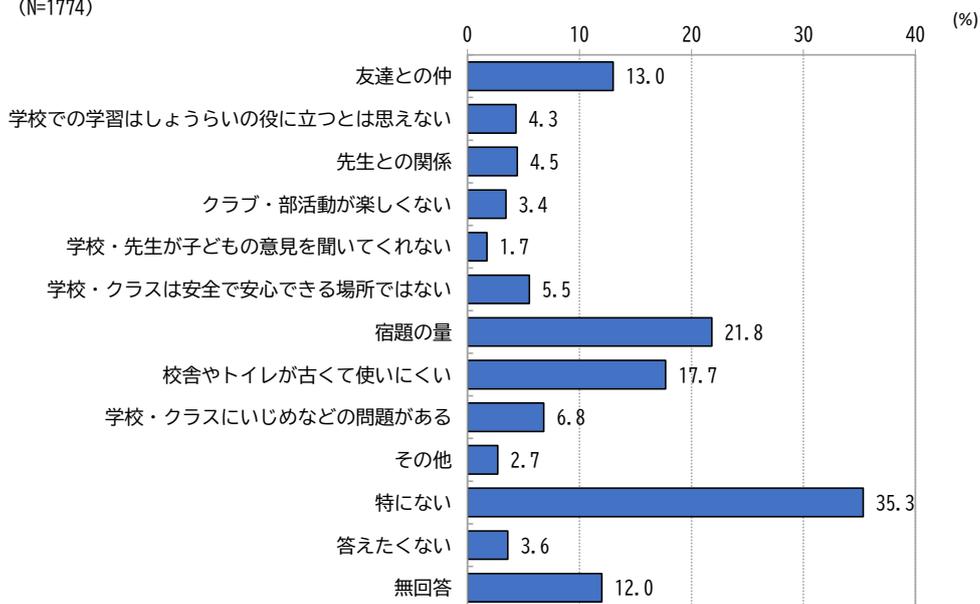


【問2】 あなたがふだんの学校での生活について、満足に感じていることを教えてください。(あてはまるものすべて)



【問3】 あなたがふだんの学校での生活について、不安に思ったり、改善したいと感じていることはありますか。（あてはまるものすべて）

(N=1774)



【問4】 あなたが学校について、思っていることや伝えたいことがあれば、自由に書いてください。

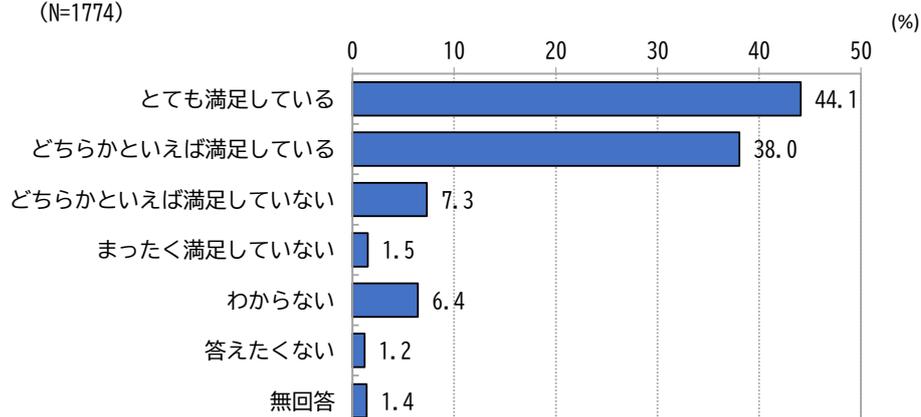
「特にな」「ない」を除くと252人の意見がみられました。上位5つの主な意見内容は以下のとおりです。

意見分類	件数
学校が楽しい、もっと良くしたい	45
校舎や設備をきれいに、新しくしてほしい	36
トイレをきれいに・洋式にしてほしい	33
学校の校則、ルールが厳しい	20
いじめへや不登校の対応を強化してほしい	19

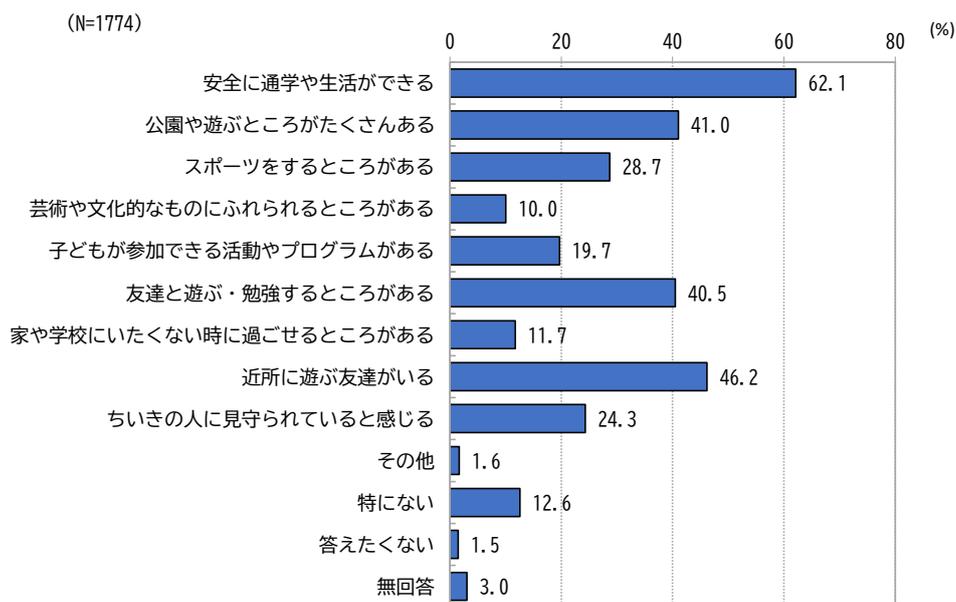
D ちいき社会について

【問1】 あなたは、自分が住んでいるちいきに満足していますか（1つ）

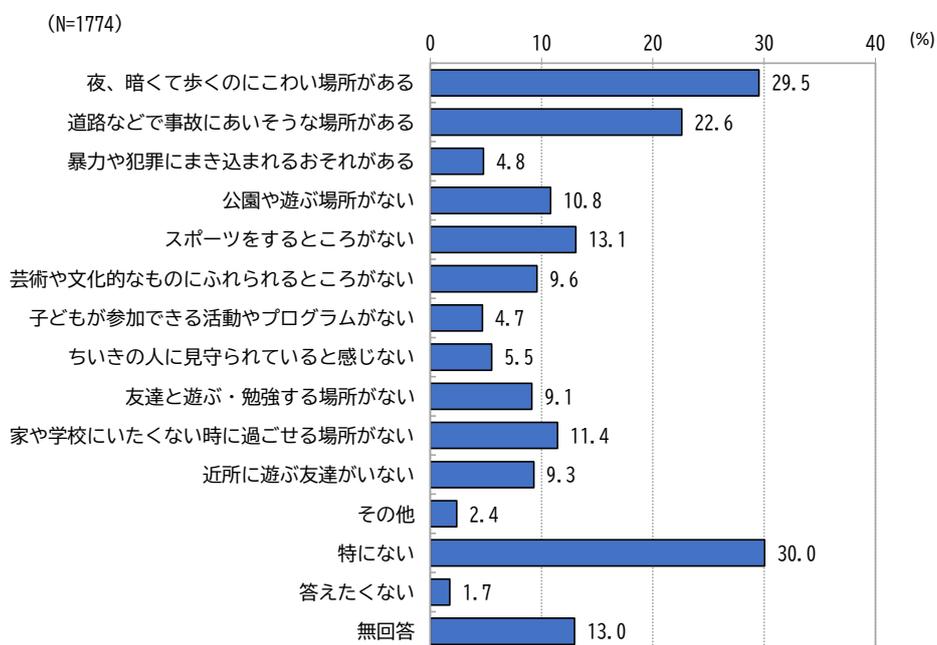
(N=1774)



【問2】 あなたが住んでいるちいきの生活で、満足に感じていることを教えてください。（あてはまるものすべて）



【問3】 あなたが住んでいるちいきの生活で、不安に思ったり、改善したいと感じていることを教えてください。（あてはまるものすべて）



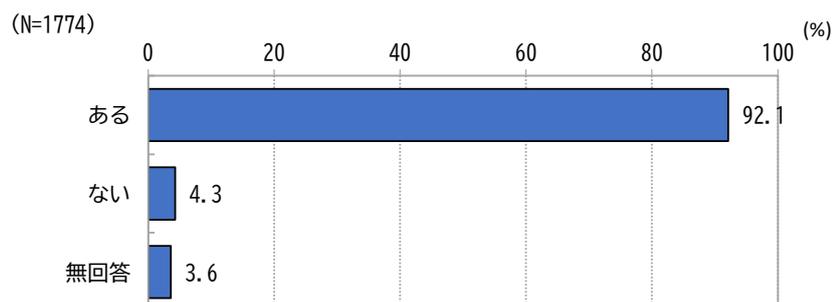
【問4】 あなたの住んでいるちいきについて、思っていることや伝えたいことがあれば、自由に書いてください。

「特にない」「ない」を除くと276人の意見がみられました。上位5つの主な意見内容は以下のとおりです。

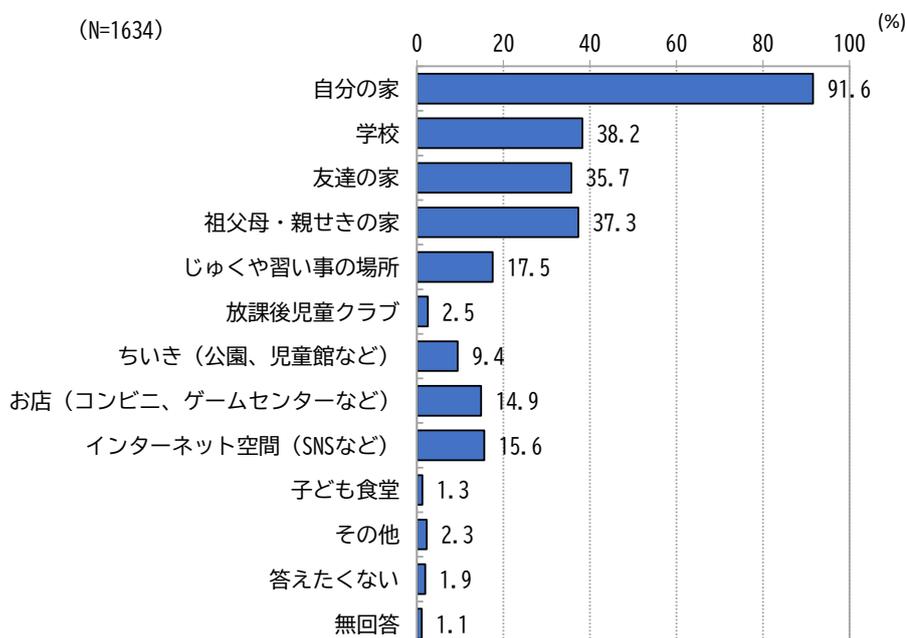
意見分類	件数
防犯対策（街灯、変人、不審者が多いなど）	45
公園について（ボール遊びがしたい、遊具、ゴミ箱や草刈りをして整備）	43
よい（人情味、落ち着く、安全）	43
遊ぶ場所が少ない、欲しい	27
図書館、プールなどの施設整備	22

E 子どもの居場所について

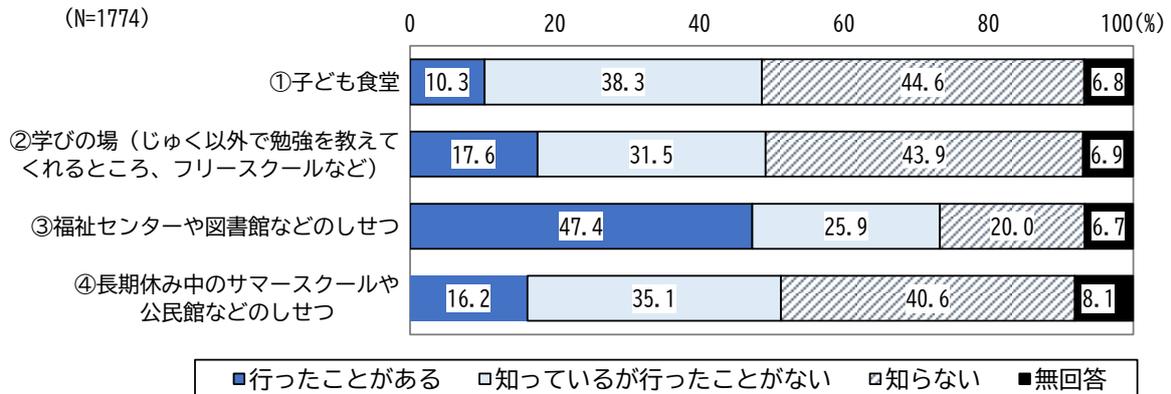
【問1】 あなたには、安心できる居場所がありますか。（1つ）



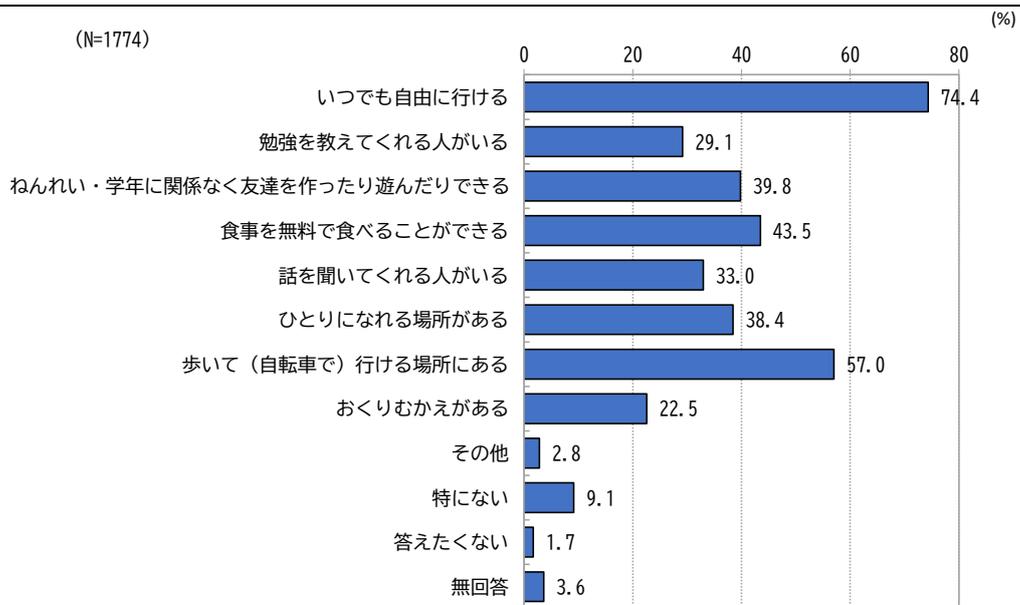
【問2】 問1で「1. ある」と回答した人にうかがいます。それはどんな場所ですか。（あてはまるものすべて）



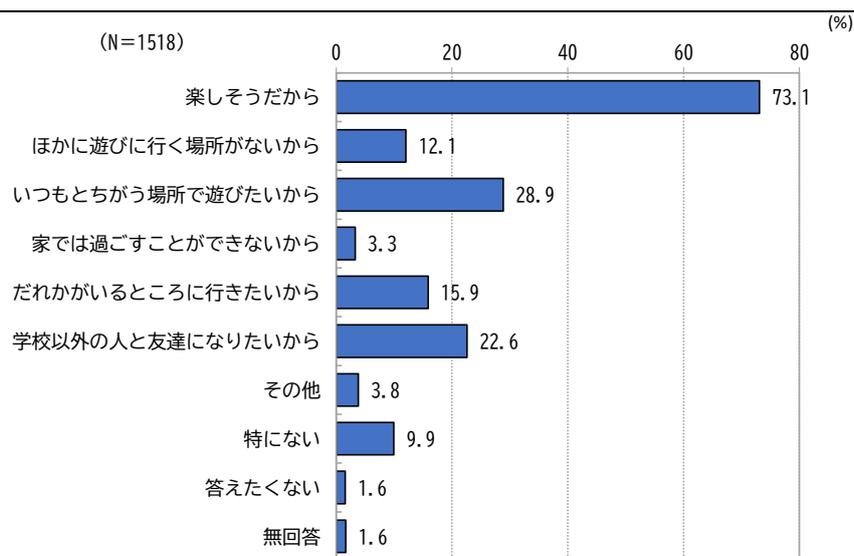
【問3】彦根市には、家庭や学校以外にも色々な子どもの居場所がありますが、そのうち以下の場所を知っていますか。また、行ったことはありますか。（それぞれあてはまるもの1つ）



【問4】あなたはどんな場所があったら行きたいと思いますか。（あてはまるものすべて）

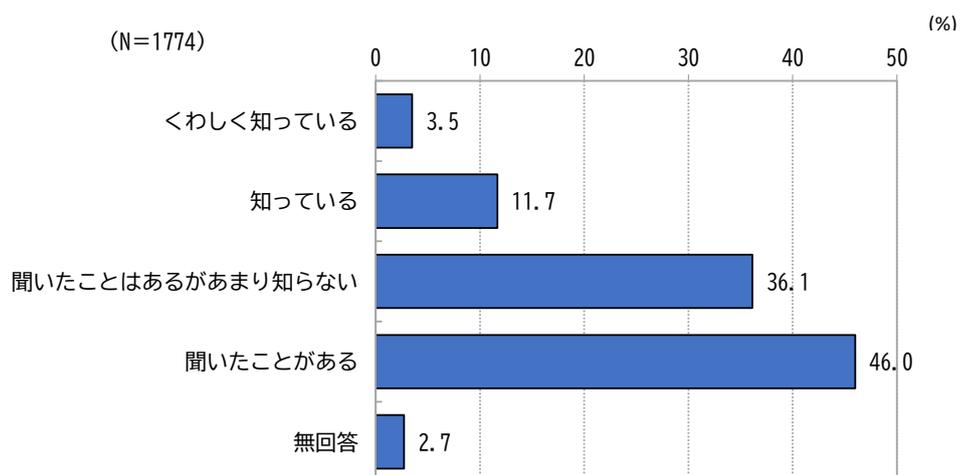


【問5】 問4で答えた場所に行きたい理由はなんですか。（あてはまるものすべて）

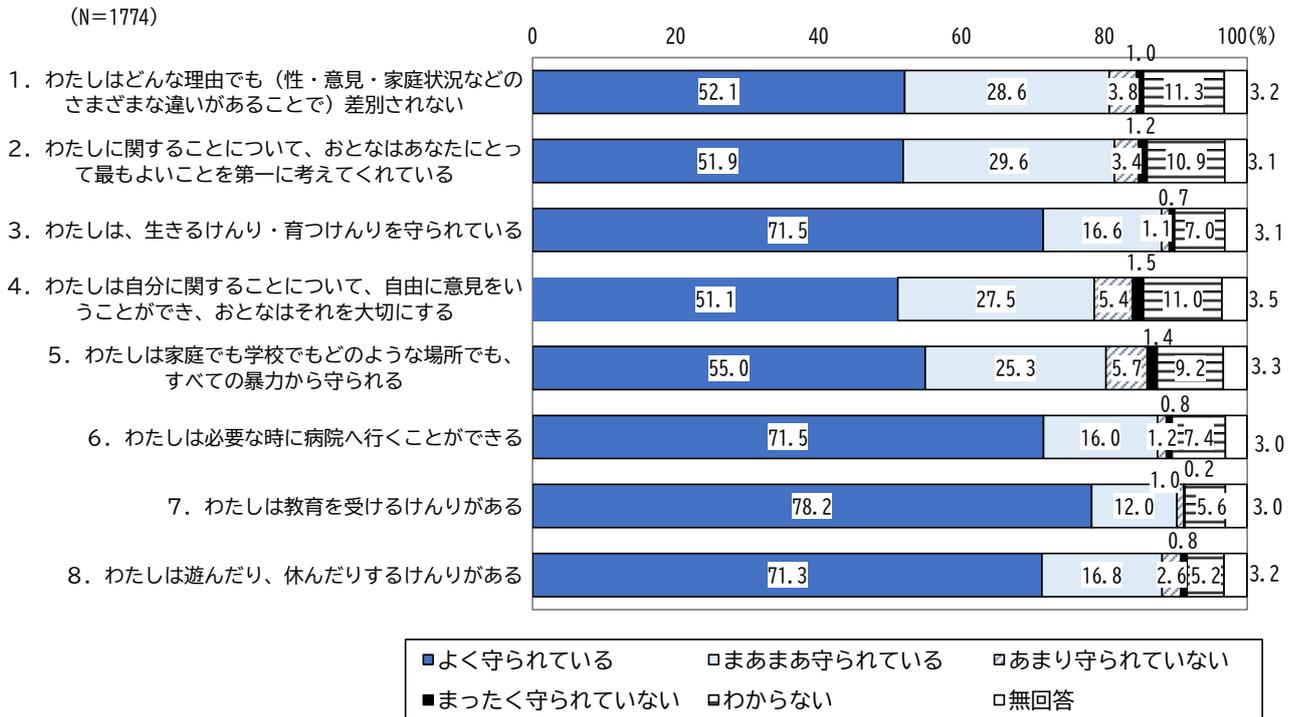


F 子どものけんりやそんちょうについて

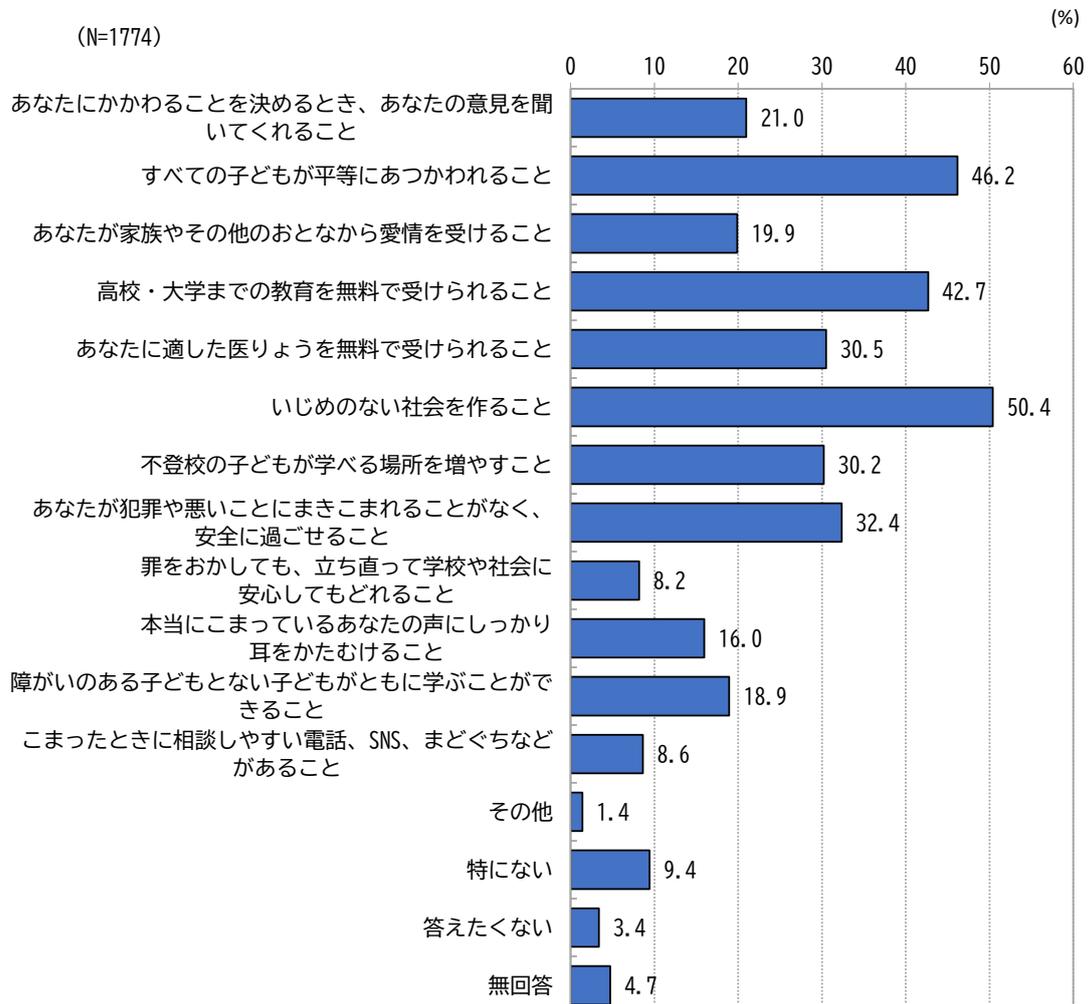
【問1】 あなたは子どもの権利条約（けんりじょうやく）について、知っていますか。（1つ）



【問2】 あなた自身は、次のことが守られている、大切にされていると感じていますか。（それぞれあてはまるもの1つ）

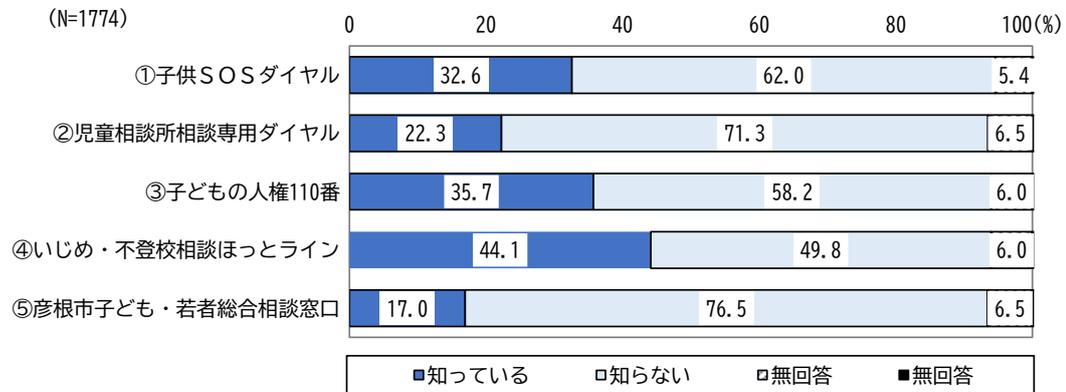


【問3】 あなたは、国や社会（彦根市）が子どもたちのために早くやるべきことは何だと思いますか。（5つまで選んでください）



G 子どもの相談先について

【問】 あなたが家や学校などでこまっていることやなやみを聞いてくれる以下の相談先を知っていますか。（それぞれあてはまるもの1つ）



【調査結果から見た現状と課題】

※速報時点の課題であり、今後、詳細分析後に追加・変更を行う場合があります。

○相談体制の充実

- ・回答者の幸福度は、全体では「とても幸せ」が44.3%、「どちらかといえば幸せ」が38.4%で合わせて『幸せ』は82.7%と高くなっています。しかし、1割未満と少ないながらも、『不幸』と感じている子どもがいます。(A問3)
- ・また、なやみや困っていることの有無については、全体では「ある」が32.1%、「ない」が66.7%となっていますが、悩みや困っていることを「相談する(したい)人はいない」子どもが1割程度見られます。(A問4、A問6)
- ・相談先の認知度は、「④いじめ・不登校相談ほっとライン」が44.1%で最も高いですが、どの相談先も5割以上が「知らない」と回答しています。(G問)
- ・こども大綱がめざす「こどもまんなか社会」の実現のためにも、すべての子どもたちが幸せな状態(ウェルビーイング)で生活を送ることができるよう、アウトリーチによる幸せの阻害要因となる悩みをみつけ、相談しやすい体制づくりが重要です。

○自己肯定感・自己有用感の向上

- ・「あなたが自分自身について、思っていることや伝えたいこと」については、自分の性格や存在に自信がないなどの悩みが第2位の意見となっています。(A問7)
- ・自己肯定感は、子どもが将来さまざまな困難や問題を乗り越える力を蓄える土台となります。学校や家庭などで、子どもたちが集団または個人の目標を達成した際に、周りの大人が認めることにより、成功体験を感じさせるという一連の取組を継続的に行い、子どもたちの発達段階に応じた対応が重要です。

○子どもの人権を守る

【親子関係の構築に向けた働きかけ】

- ・自分の家庭の満足度は、全体では「とても満足している」が54.1%で最も高く、「どちらかという満足している」の30.9%と合わせると『満足』が85.0%となっていますが、「どちらかといえば満足していない」「まったく満足していない」を合わせて、6.6%が自分の家庭に満足していないことが分かります。(B問2)
- ・満足に感じていることは、全体では「自分が安心して過ごせる場所がある」が73.4%で最も高く、次いで「必要なものを買ってもらえる」が57.6%となっています。(B問3)
- ・子どもにとって家庭が居心地の良い空間となるため、家庭へのサービス・働きかけにより、親子間の適切な関係性の構築をサポートしていくことなど、子どもの幸せのためには、子どものみでなく、子どもをとりまく家庭環境や、家族全体に対する包括的な支援を行っていくことが重要です。

【いじめや不登校への対応】

- ・学校は楽しいかについては、「どちらかといえば楽しい」が42.1%と最も高く、「とても楽しい」の41.6%と合わせると『楽しい』が83.7%となっています。(C問1)
- ・学校生活で満足に感じている事は「友達との仲」、不安に思ったり、改善したいと感じている事は「宿題の量」となっています。(C問2、C問3)
- ・「学校について、思っていることや伝えたいこと」からは、校舎や設備の改善と共に、いじめや不登校の対応に関する意見が多くみられます。(C問4)

- ・アンケート結果からも、7割以上の子どもたちが自分専用のスマートフォンを持つ中で、保護者が子どもたちの話を聞く機会が少なくなり、心身の微妙な変化に気付くことが極めて困難になっているといわれています。いじめの早期発見のためにも、保護者だけでなく、周囲の大人たちも子どもたちのサインを見逃さないように心がけ、子どもの権利を守り、いじめをなくしていくことが必要です。
- ・不登校の子どもについても、子どもの声に耳を傾け、教育機会の確保等子どもの最善の利益を尊重する必要があります。

○子どもたちの安全な居場所づくり

- ・自分の住んでいる地域の満足度は、「とても満足している」の44.1%、「どちらかといえば満足している」の38.0%を合わせると『満足』が82.1%となっています。(D問1)
- ・安心できる場所の有無については、「ある」が92.1%、「ない」が4.3%となっています。(E問1)
- ・学校以外の居場所については、「行ったことがある」の中で「③福祉センターや図書館などのしせつ」が47.4%で最も高く、次いで「②学びの場(じゅく以外で勉強を教えてくれるところ、フリースクールなど)」が17.6%となっています。(E問3)
- ・「住んでいるちいきについて、思っていることや伝えたいこと」からも、安心や安全の確保と共に、遊び場への意見が多くみられます。(D問4)
- ・心豊かでたくましい子どもたちを社会全体ではぐくむためにも、全ての子ども・若者が、年齢を問わず、相互に人格と個性を尊重しながら、安全に安心して過ごせる多くの居場所を持つことができるよう、子どもたちの意見を聞きながら地域・社会全体で支えていくことが必要です。